

# 庄川観光祭

平成27年

富山名物

庄川夜高よ  
精進若衆のササ

ヨイヤサヨイヤサ  
ヨイヤサヨイヤサ

# 庄川 夜高 行燈

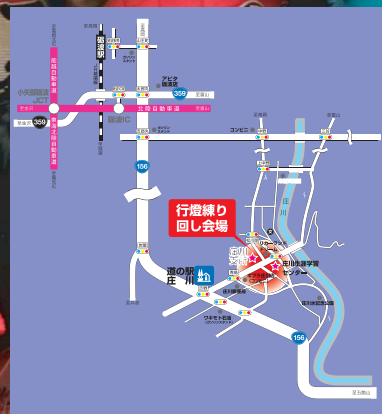
6.6(土)

- ◆夜高行燈コンクール  
小・中PM7:30頃～  
大PM9:00頃～
- ◆大行燈“あわせ”  
コンクール終了後

6.7(日)

- 砺波市庄川支所付近  
(庄川生涯学習センター前から庄川支所横)
  - ◆雄神・種田地区子ども行燈大集合  
PM7:30頃～
  - ◆青島地区大行燈“あわせ”  
PM8:00頃～
  - ◆子ども行燈手締め式 青島会場  
PM8:30頃～ 庄川支所前
  - ◆全大行燈“あわせ”  
PM9:30頃～
  - ◆大行燈手締め式  
PM11:00頃～ 庄川支所前
- 
- 富山銀行付近  
(おおた内科から富山銀行前)
  - ◆金屋地区大行燈“あわせ”  
PM7:30頃～
  - ◆子ども行燈手締め式 金屋会場  
PM8:30頃～

京坂若連中  
大行燈！  
27年ぶりに  
練り回し！



- ◆企画・制作:庄川夜高若連中
- ◆協力:庄川町夜高保存会、東山見・青島・雄神・種田公民館



# 庄川の夜高祭の由来

田祭りは、ヤスンゴト(休む事)といって、各村で田植え終了の祝う行事である。この日、子どもや青年たちが夜高行燈(よたかあんどん)をつくって集落を巡り、五穀豊穡・豊年万作を祈念したのが、由来である。砺波地方では、夜高行燈がいつごろから普及し盛んに行われるようになったか明らかではないが、昭和27年6月1日、生活習慣や歴史を同じくする東山見村、青島村、雄神村、種田村の四ヶ村が合併し、庄川町を誕生させ、その町制施行一周年を記念して、昭和28年6月9、10日の両日に渡り庄川町観光祭を開催し、花火大会と同様に夜の観光行事として夜高行燈の練り回し、コンクールが行われ更に盛んになった。



**6月7日** 砺波市庄川支所付近  
(庄川生涯学習センター前から庄川支所横)

- ◆雄神・種田地区子ども行燈大集合 PM7:30頃～
- ◆子ども行燈手締め式 青島会場 PM8:30頃～庄川支所前
- ◆青島地区大行燈“あわせ” PM8:00頃～
- ◆全大行燈“あわせ” PM9:30頃～
- ◆大行燈手締め式 PM11:00頃～庄川支所前

富山銀行付近  
(おた内科から富山銀行前)

- ◆金屋地区大行燈“あわせ” PM7:30頃～
- ◆子ども行燈手締め式 金屋会場 PM8:30頃～

**手締め式 会場6/7**

道の駅庄川 お土産販売所 両日

**コンクール スタート地点**

コンクール順番  
1. 金屋清流会  
2. 東部松栄会  
3. 西部西友会  
4. 中路  
5. 南部野  
6. 下村  
7. 庄新会  
8. 京坂  
9. 中之島

**6月6日** 砺波市庄川支所付近

- ◆夜高行燈コンクール 小・中行灯PM7:30頃～ 大行灯PM9:00頃～ (庄川生涯学習センター前)
- ◆大行燈“あわせ” コンクール終了後 (庄川生涯学習センター前から庄川支所横)

参加行燈団体

- ◆金屋清流会
- ◆京坂若連中
- ◆畑直二十日会
- ◆清水町清友会
- ◆南部野若連中
- ◆庄新会
- ◆中之島若連中
- ◆東部松栄会
- ◆中路クラブ
- ◆西部西友会
- ◆下村
- ◆示野
- ◆サンパチ会
- ◆舟誠会
- ◆種田地区児童・母親クラブ
- ◆雄神小若連中

**駐車場のご案内**

※なお、駐車場には限りがございますので、ご察念ください。また、駐車場における事故等には、一切責任を負いません。

恵比寿大黒・獅子天狗 豪華絢爛宝船

下村

裁許 米道 和浩

熱き思いのこもった 中部の行燈を見てください。

中路

裁許 大浦聡一郎

若連中の熱気が神輿型の行燈と共に 六月の夜を飾ります。

松栄会

裁許 澤田 岳俊

なぶのは形と色にこだわった行燈です 観光祭の夜を南部野が照らします。

南部野

裁許 齋藤 貢市

今年も庄新夜高にどうご期待!

庄新会

裁許 山橋 賢二

今年で清流会は結成十周年。良き仲間と共に、これからも邁進します。

清流会

裁許 吉江 宗淳

西部の夜高は"theater"、合わせもガンガン押しちゃうよ!

西友会

裁許 松川 勲

ふくよかな顔の恵比寿様。名物かちかち節を、お楽しみに!

中之島

裁許 小西 紀彦

**夜高グッズ 販売中!**

販売保存会場

- 夜高保存会本部横(当日のみ)
- 道の駅庄川
- 庄川水公園ウッドプラザ

ハッピーストラップ ハッピーコースター クリアファイル

**庄川の夜高の見どころ**

富山県では、一番早い時期の花火大会の中で、武者絵や宝船などの縁起物が描かれた子どもの小・中行燈、大人の 大行燈が練り回される。花火と行燈の光を同時に楽しめるのは、庄川だけ。初日のコンクールが終わった後、“あわせ”と呼ばれる大行燈どうしのぶつかりあいが二日間行われ、最後に庄川支所前で大行燈と若衆が集合し行われる“手締め式”は、圧巻の光景である。

**マメ知識**

さいきよ **裁許とは?**

行燈を統括する 責任者です。そのリーダーが“総裁許”である。